



進学先

和歌山県立医科大学
保健看護学部

賀見 愛梨さん

星林高校 普通科
バトントワリング部

進学先

和歌山県立医科大学
保健看護学部

楠本 美怜さん

星林高校 普通科
剣道部

Academy Campusに来てくれた
きっかけを教えてください。

賀見: GES(小学生部・中学生部)に通っていたので、そのまま継続してアカデミーに来ました。

楠本: 私は高2の春から。愛梨(賀見さん)が通っているのを聞いていて、よさそうだなと思って決めました。

星林高校での高2のコース選択時はどの
ように決めましたか。

※星林高校普通科の2年次からコース

[アドバンスコース]

文理に分かれて設置される、国公立大学や難関私立大学への現役合格を目指すコース。授業の進度が標準より速く、応用力・実践的な学習に特化しており、1年次の希望と成績によって選考される。

[スタンダードコース]

各自の進路希望に対応できる幅広い科目選択ができる。

楠本: 高1の時から和医大に行きたいと思ってたから、高校ではアドバンスコースを選びました。アドバンスの方が勉強の環境は整ってるので自分も勉強しやすいかなと思って。周りが勉強してるから自分も頑張ろうって思える雰囲気でした。

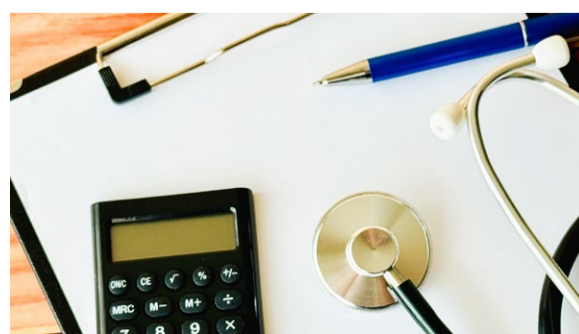
賀見: 私もアドバンスコース。スタンダードと授業時間は同じだけど進むスピードが全然違う。国公立大を目指すとか数Cが必要とかであればアドバンスコースを選んだ方が良く思う。理系もアドバンスだけだし。私が選んだ理由はやっぱり環境面が大きいかな。成績も取れていたしアドバンスの方が受験意識の高い人が多

いからみんな勉強するし。小学生の頃から看護師になりたいと思っていて、中学生ぐらいで和医大を目指そうと思い始めました。途中で総合大学や他の学部を考えたこともあったけど、やっぱり自分の進みたい道は看護かなと思って。

看護師になりたいと考えたきっかけ
や、今後の目標は？

楠本: 家族の影響です。お母さんとお姉ちゃん。保健師も一緒に取りたいなと思っています。お姉ちゃんが実習で苦しんでいるところも見ているから(笑)覚悟はできてます。厳しいと思うけど頑張ります。

賀見: 私も看護師を考えたのは家族や親戚の影響で。おばあちゃん、お母さん、いところから話を聞いていたので。助産師もいいなと思ってるけど入学してから考えようかなと思ってます。実際にやってみて決められたらいいな、という感じで。



高1・高2のテスト勉強や、部活との両立、
受験勉強を始めた時期について教えてください。

楠本: 高1・高2のテスト勉強はちゃんとしてたけど、受験勉強って言われると高3からかな。部活は高2からの入部で一年半。練習は週3だったから両立って言ってもそこまで難しくはなかったと思います。

賀見: 私は、まず塾は絶対に優先していました。部活を途中で抜けたりもして。あと、部活で帰るのが遅くなっても帰ってからも勉強はするようにしていました。定期テストの順位の最高は2位。評定は4.9でした。定期テストは習った内容がそのまま出たし、わからない問題はアカデミーで質問できたし。学校のワークをやって、わからないところは調べて、全部の範囲を覚えるつもりでやりました。

楠本: 同じ。本当に全部覚える。定期テストは暗記でした。評定は4.8。

賀見: テスト勉強は、発表される前からオレンジのペンで先にやり始めておいて、発表されてから本格的に。その方法で高2まではいけてた。高3からは難しくなってきたけど。もし1週間前から始めてたら絶対に間に合わなかったと思う。

楠本: うん。テスト勉強は1週間前からじゃ無理。あと、受験勉強を本格的に始めたのは部活を引退した6月ぐらいだったかな。サテラインを受け始めて。

賀見: 私も受験勉強は高3の部活終わってからだけど、(硬式野球部の応援のため)引退したのが8月

くらい。それまでは毎日4時起き、試合・模試・試合…みたいな感じで。ほんまにしんどかった！でも模試の判定もよくなかったから焦る気持ちもあって。

楠本: しんどそうだった、あれは。私は夏休みは基礎を固めようと思って頑張りました。でも、一番しんどかったのは冬かな。1日10時間はやってた気がする。

賀見: 私も受験勉強を始めてからは朝から図書館行って夜まで。10時間は超えてたと思います。



Academy Campusの授業はどうでしたか？

賀見: ライブ授業(ACクラスライブ授業)は英語がよかったです。

楠本: うん、圧倒的に英語！ヨッシー(吉田先生)の。解き方のコツを教えてくれる。それまでは、どう解いたらいいのか、共テの対策はどうしたらいいのかかわからなかったけど、ヨッシーの言う通りにしたら点数が伸びた。受けてよかったです。

賀見: 私も最初は英語が苦手だったけど、まずは単語を覚えるところから始めて少しずつ読めるようになってきて。で、ヨッシーに解き方を教えてもらってその通りにしたらめっちゃ点数上がった。

楠本: 長沼先生の国語もよかった。攻略本(オリジナル別冊テキスト:「国語攻略本」)がすごくよかった。

サテライン(代ゼミサテライン講座)は生物基礎(鈴木茂講師(共通テスト生物基礎))の授業。授業ノートを見返すと覚えられるし、めっちゃよかったです。

賀見: 私は生物基礎(鈴木茂講師(共通テスト生物基礎))と化学基礎(藤原康雄講師(共通テスト化学基礎))の授業ノートに自分でいろいろ付け加えて使っていました。特に直前期は役に立った。

あとEQ!(英語基礎カトレーニング講座「English Quest」:テストに合格するまで帰れないAC伝統講座)ずっと勉強して必死になって覚えました。負けたくなかった、桐蔭生に(笑)。その気持ちが大きかったかも。切磋琢磨みたいな。

楠本: マジで負けたくなかった(笑)。再テストも嫌やったし。

賀見: EQで覚えたやつ、いっぱい出てたよな。あと、アカデミーは先生との距離が近いから、何でも話せました。県庁前校は桐蔭の子が多かったから心配だったけど、意外と壁は感じなかったです。

楠本: 自習室ではみんな頑張ってるから、自分も頑張ろうって思えて。そういう環境がよかったと思います。最後の引退試合にはアカデミーの先生が応援に来てくれて。それもめっちゃ嬉しかったです。



後輩へのアドバイスをお願いします。

楠本: 頑張れ、本当にその一言。

賀見: 周りに流されないこと。惑わされないこと。それはほんまに大事やと思います。たとえ周りが遊んでたとしても、ちゃんと勉強する。学校の自習の時間も。

楠本: 高3の秋ぐらいから指定校推薦で合格した子たちが遊んでるけど、絶対に気にせず。自分は自分。後悔のないように頑張ることが大事だと思う。



インタビューを終えて

二人は、互いに高め合う競争相手でありながら、信頼し合える友人でもあったと感じています。和医看合格という明確な目標を掲げ、その実現に向けて日々努力を積み重ね、見事に合格を勝ち取った姿がとても印象的でした。

二人に共通していたのは、定期考査への向き合い方(早い時期からの準備)、塾の確認テストへの取り組み(毎回合格)、そしてテストで確実に点数を取りに行く高いモチベーションです。どのテストにも妥協せず、「できるまでやる」という姿勢を貫いたことが、合格につながる大きな力になりました。

さらに、部活動引退後は自習室を積極的に活用し、周囲の頑張りに刺激を受けながら「他の生徒に負けない」という強い意識で学習に取り組んでいた点も重要です。環境をうまく活かし、



自分自身を高め続けたことが得点力の向上につながったのだと思います。

受験で最も大切なのは、日々の積み重ねです。目の前のテスト一つひとつに全力で取り組み、確実に結果を出すことの重要性を、二人は改めて教えてくれました。大学進学後も高校時代と同じように日々の学びを大切に、素晴らしい看護師へと成長されることを期待しています。和歌山県立医科大学保健看護学部合格、本当におめでとうございます。

AC県庁前校カウンセリングスタッフ 赤井 栄木